

鶴見大学紀要

第60号

第3部 保育・歯科衛生編

目 次

小澤晶子、天野理江、宮尾奈々 介助歯磨きにおける音波歯ブラシのプラーク除去効果 — 歯列不正顎模型上でのブラッシング時間の違いによる比較 —	1
清田法子 マトリックス固定したハイドロキシアパタイトナノ粒子の溶出挙動	7
田中宣子、保坂真利奈、後藤仁敏 青年期女性の歯の形態学的研究 (6)	11
片川智子 保育実践を伝えるクラス便りが保育の質向上に繋がる可能性 — 幼稚園年中組のクラス便りの分析を通して —	27
河合高鋭 教員養成課程における教育心理学に関する一考察	37
川池智子、綿貫恵子、樋川隆、根岸洋人、加藤稔子、川池秀明、長宗武司、佐々木さち子 〈ケア労働〉のヴァルネラビリティと価値に関する実証的研究 (2) — 障害者支援 / ケア専門職の“仕事観”：みずほ福祉助成財団助成研究から —	43
木口恵美子 意思決定支援の視点に関する研究 — コミュニケーションカードに着目して —	57
戸田京子、綿貫恵子 発達障害支援の歴史的変遷と、今日的課題	63
増田直広 自然保育者養成における自然体験活動指導者養成講習会の意義	69
松本和美、松田聖子 言語表現教材「いないいないばあ」の魅力 — 保育学生の作品表現の分析と考察 —	75
松本和美、高橋かずみ こども図書館の未来	81
山室吉孝 子どもとの信頼関係を築く方法	87



鶴見大学

令和5年2月

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY
VOLUME 60
PART 3
STUDIES IN INFANT EDUCATION
AND DENTAL HYGIENE

CONTENTS

Akiko OZAWA, Rie AMANO, Nana MIYAO The effect of sonic toothbrushes in assisted tooth brushing on plaque removal — Comparison of different brushing times on malalignment jaw models—	1
Noriko SEIDA Dissolution behavior of hydroxyapatite nanoparticles immobilized in polymer matrix	7
Nobuko TANAKA, Marina HOSAKA, Masatoshi GOTO Morphological studies on the dentitions of extant female during adolescence (6)	11
Tomoko KATAKAWA Classroom newsletters conveying childcare practices may improve the quality of childcare — Through an analysis of the class newsletters of the middle kindergarten class.—	27
Takatoshi KAWAI A study of educational psychology in teacher training courses.	37
Tomoko KAWAIKE, Keiko WATANUKI, Takashi HIKAWA, Hiroto NEGISHI Toshiko KATO, Hideaki KAWAIKE, Takeshi NAGAMUNE, Sachiko SASAKI Empirical Research on Vulnerability and Value of 〈Care Labor〉 (2) “working consciousness” of people with disabilities support/care professionals ; supported by the granted research from Mizuho Welfare Foundation.	43
Emiko KIGUCHI Research on perspective for Supported Decision-Making. — Focusing on Communication Cards—	57
Kyoko TODA, Keiko WATANUKI Historical changes in support developmental disabilities and today’s issues	63
Naohiro MASUDA Significance of the Nature Experience Activity Leader Training Course in the Training of Nature Childcarers	69
Kazumi MATSUMOTO, Syoko MATSUDA Attractiveness of the language expression teaching material “Peek-a-boo” — Analysis and Consideration of Art Expressions of Junior College Students—	75
Kazumi MATSUMOTO, Kazumi TAKAHASHI The future of children’s libraries	81
Yoshitaka YAMAMURO — Some methods of building a relationship of trust with children—	87

FEBRUARY 2023

鶴見大学紀要投稿規程

(趣旨)

第 1 条 鶴見大学（以下「大学」という。）および鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究または教育に従事する者の成果を紀要に公表することについて定めるものである。

(投稿資格)

第 2 条 紀要に投稿できる者は、原則として、大学および短期大学部において研究または教育に従事する者およびこれと共同で研究に従事する者とする。

(投稿原稿)

第 3 条 原稿は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の原稿は本紀要に投稿できない。ただし、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。

(紀要の部編)

第 4 条 紀要の部編は 4 種類とし、その邦文および欧文の標題は次のとおりとする。

一 鶴見大学紀要 第 1 部（日本語・日本文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 1 (STUDIES IN JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE)

二 鶴見大学紀要 第 2 部（外国語・外国文学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 2 (STUDIES IN FOREIGN LANGUAGE AND LITERATURE)

三 鶴見大学紀要 第 3 部（保育・歯科衛生編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 3 (STUDIES IN INFANT EDUCATION AND DENTAL HYGIENE)

四 鶴見大学紀要 第 4 部（人文・社会・自然科学編）

THE BULLETIN OF TSURUMI UNIVERSITY PART 4 (STUDIES IN HUMANITIES, SOCIAL AND NATURAL SCIENCES)

(発行の回数)

第 5 条 紀要は、年度内に 1 回発行することを原則とし、その時期は年度末 3 月とする。

(提出原稿)

第 6 条 原稿の作成は、紀要刊行内規で定められた投稿要綱に従うものとする。

(原稿の提出先)

第 7 条 原稿は、投稿する部編の紀要委員に提出するものとする。

(原稿の提出締切日)

第 8 条 原稿の提出締切日は、部編により別に定める。

(編集)

第 9 条 編集は、紀要委員会が行うものとする。

(別刷)

第 10 条 50 部を超える別刷の費用は、著者が負担するものとする。

(著作権)

第 11 条 紀要の公開にともなう、複製権および公衆送信権に関わる著作権の行使は、原則として大学および短期大学部に帰属する。ただし、著者が自分の論文等を利用することは差し支えない。

二 論文等の全部あるいは大部分を他の著作物等を利用する場合には、その旨を大学および短期大学部に申し出ると共に、出典を明記する。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記する。

三 掲載された論文等の執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされた場合には、著者がその責任を負う。

附 則 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

執筆者一覧

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 小澤晶子 (歯科衛生科教授) | 片川智子 (保育科准教授) |
| 天野理江 (歯科衛生科実習助手) | 河合高鋭 (保育科准教授) |
| 宮尾奈々 (歯科衛生科実習助手) | 川池智子 (保育科教授) |
| 清田法子 (歯科衛生科助教) | 樋川隆 (山梨学院短期大学保育科特任教授) |
| 田中宣子 (歯科衛生科准教授) | 根岸洋人 (高崎健康福祉大学健康福祉学部
社会福祉学科准教授) |
| 保坂真利奈 (歯科衛生科実習助手) | 加藤稔子 (西九州大学健康福祉学部
社会福祉学科准教授) |
| 後藤仁敏 (歯科衛生科名誉教授) | 川池秀明 (聖徳大学心理・福祉学部
社会福祉学科教授) |
| | 長宗武司 (新見公立大学健康科学部
地域福祉学科助教) |
| | 佐々木さち子 (身延山大学仏教学部特任准教授) |
| | 木口恵美子 (保育科准教授) |
| | 戸田京子 (保育科講師) |
| | 綿貫恵子 (保育科講師) |
| | 増田直広 (保育科講師) |
| | 松本和美 (保育科教授) |
| | 松田聖子 (帝京平成大学人文社会学部
児童学科講師) |
| | 高橋かずみ (アルウィン学園玉成保育専門学校) |
| | 山室吉孝 (保育科教授) |

鶴見大学紀要 第60号

第3部 保育・歯科衛生編

令和5年2月23日 印刷

令和5年2月28日 発行

編集人 木口恵美子

石黒梓

発行人 中根正賢

印刷所 株式会社 東プ

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-41-11

発行所 鶴見大学

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

電話 045(581)1001番